

令和5年度 第1回 中能登町立中能登中学校 学校運営協議会 議事録

【日 時】	令和5年4月27日(木) 18:30～20:00
【会 場】	中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島」2階第1会議室
【出席者】	大西保・岡下哲也・加賀賢成・木村実貴絵・高橋加奈美・鳥木教文 水谷内良郎 中能登中学校校長(50音順)
【事務局】	中能登町教育委員会 林大智 教育長 学校教育課 梅澤博 課長・高木宣維 担当課長・大西健 課長補佐 生涯学習課 清酒秀樹 課長・守山一富 課長補佐・大野知子 主査・中瀬信二 主事 山口千鶴
【次回予定】	令和5年

司会：学校教育課 高木宣維 担当課長

1. 開会

それでは、令和5年度第1回中能登中学校学校運営協議会を行います。

2. 教育長あいさつ

こんばんは。お仕事がお忙しい中、ありがとうございます。能登地区では初めての協議会となる。かほく以南の地区は既に立ち上がっており、地域とともにある学校作りが進んでいる。中能登でも学校と地域が手を繋ぐような活動をしていければと思っている。以前、かほく市に勉強に行き、地域の声をたくさん拾ってもらいありがたいとの小中学校の声を聞いている。つい最近だが、民生児童委員さんからの協力意向もあった。その方は、学校の敷居が高いとのことだった。この仕組みがあることで、学校にすぐ入りやすくなったし、協力もしやすくなったということで喜んでおられた。問題点は多々あるが、中能登町の子どもたちのためにより良い学校作りをしていきたいと思っているので、よろしく願います。

3. 出席者自己紹介

～省略～

4. 任命書の交付

5. 会長、副会長の選出

～選出にあたり、中能登町学校運営協議会規則を元に説明～

委員の承認を得、会長に大西保委員、副会長に岡下哲也委員が選出。

6. 協議会の趣旨説明

～資料に基づき説明～

【進行の交代】 高木宣維担当課長⇒大西保会長

ただいま皆様から会長に任命されました大西保です。教育長の挨拶にもあったが、コミュニティ・スクールにける想いがあり、私たちもその想いに応えられるように意見を出し合いたい。中学校がより良い教育ができるように、この会を充実させていくことが私たちの務め。不慣れだが、皆様と自由な、率直な意見交換ができる会にしていきたい。

7. 令和5年度学校運営方針について

～水谷内校長より、学校経営計画について説明～

【質疑応答】

委員：「教育の質を落とさずに働き方改革を進めー」とあるが、何かスケジュール等の変更や対策はあるのか？教職員の負担は現状どう変わったのか？

⇒校長：コロナ禍に入り、これまでの取り組みが簡素化されたが、コロナ禍が解けても、必要なものと不必要なものとを分別し、良いものを残していく。

会長：コロナで学校がだいぶ変わったのではないかと？思い切って、切れるものは切って時間をより有効に使っていただければいいのではないかと。

委員：積雪時の除雪や送り迎えについて、交通ルールがなかなか守られていない。先生方にとって負担になっているものもある。地域の力を借りて、カバーしてもらえたらいいのではないかと。早めの対策が必要。

⇒校長：教頭がメール配信で対応したりしている。去年は教員の駐車場を変更して、除雪車が入りやすいように対応した。できることをやっていきたい。

会長：特に冬場、生徒さん・先生の安全確保が大事。行政の方にも協力頂きたい。

⇒事務局：教育委員会としては、直接除雪をするわけではないが、担当部署の土木建設課に依頼して早めの対応をお願いしている。

校長：庁務員さんも早めに来て、対応している。

委員：部活動の基本である挨拶をしっかりとできればいいかなと思う。生徒への声かけが大事。立ち振る舞いについても指導。最後にくるのは感謝。部活動のために学校に出てくる子もいるので、生徒とのコミュニケーションを大事にしている。中能登中に関わって10年になるが、指導が楽しい。卒業しても顔を出してくれる子もいて、嬉しいと感じている。

⇒校長：子どもが主体的に、先輩から後輩まで協働的に活動できるようにやって下さっている。意図的・計画的に見てくださっており、生徒もまとまっている。ありがたい。

会長：校長先生の想いや考えを聞くことも大事。どんどん意見交換をしていきましょう。

委員：新1年生について、希望を持って入学してきている。新しい生活が始まっているが、3小学校から集まっていたり、部活動での先輩・後輩があったりと、環境が違う中で不安もあると思うが、どんな様子で過ごしているか？

⇒校長：1年生が一番元気。欠席者も少ない。いい雰囲気、表情も良い。

委員：テストなどで点数が低く、テンションが上がらないという子に対してはどうお考えか？手立てとしては？

⇒校長：手立てとしてはすっきりタイムを設けたりしている。これからそういうことが出てくると思うが、1つでも2つでも楽しめることがあればいい。現に休まずに学校に来ている。

委員：弓道部では上級生が下級生への指導を行ったりしている。

委員：息子が幼稚園の時、週2回空手教室に通っていた。中学校在学当初は活動数の少ない部活動以外の活動が許されていなかったため、弓道部に所属していた。学習意欲も出てきたため、学習塾にも通いだし、習い事が3つになったが、継続するのが難しく、空手を諦めた。弓道をやっていたのが無駄ではなかったが、もしも少ない活動でも、空手が認められていれば、そっちの道で結果を残せたのではないかとという想いもある。今後入ってくる子どもたちには、自分のやりたいスポーツが選択できる環境・体制を柔軟に提供してあげたい。

⇒校長：認めてあげたい。これまで部活動外の活動をしている子が所属できるトレーニング部というものがあったが、今年は名前を変え、学校外活動というものにした。

委員：最近話題になっているヤングケアラーについて、もし町内にそういう子どもたちがいるのであれば、早く見つけて対応してあげたい。

⇒校長：アンテナを立てながら、対応していきたい。

会長：校長の学校経営方針について、皆さんの承認を伺いたい。

⇒委員一同、拍手。承認

8. 令和5年度事業計画について

～中能登町コミュニティ・スクールリーフレットに基づき説明～

【質疑応答】

委員：この協議会はしごと館に関わってくるのか？

⇒事務局：中能登中学校 CS スケジュールに沿ってお話させて頂く。中能登しごと館のサポート・部活動サポート体制の強化を2本柱に進めていくが、協議委員さんには、まず情報共有をさせて頂き、ここおかしいのでは？というご指摘等があれば意見を頂ければ。しごと館については、実際にはPTA 研修部さんが主体となって学校・教育委員会と協力して事業を進めていく。協議委員さんには、直接的には何かして頂くということがないが、今後協議を進めていく上で、こんな人材の方がいらっしやらないか？かという投げかけをさせて頂くことはあると思う。

委員：先週、しごと館の会合があり、今年は町が携わってくれると聞いている。担当の方がどなたか、どれくらい関わってくれるかというのが分からない。分かり次第、次回から一緒にお話を進めていきたい。

⇒事務局：メインはPTAの皆さん。業務の流れとして、こういったサポートができるのかというのを、学校側も事務局も把握できていない。あくまでも代々続いてきている部分ではあるので、メインとしてPTAさんが進めていただいて、不足している部分を補うと思って頂ければ。

委員：講師の選定は町の方だと聞いているが？

⇒事務局：基本的には子どもたちの声が大事になるのかなというふうに思っている。子どもたちの声を学校に聞いて頂いて、それを元にPTA 研修部さんと担当の教職員と大野さんを交えて協議をして、決定する。決定権はこちらじゃなくて、あくまでもPTAさん。

事務局：前年に、来年もしてくれるかどうかのアンケートを取っていると聞いている。それも踏まえて検討していければと思う。

会長：コミュニティ・スクールとの絡みがまだはっきりしていないところもあるが、お互いにコミュニケーションをとって、進めていきましょう。

委員：学校運営協議会で話し合ったことを地域に発信していくとあったが、実際にどういったことをやっていけばいいのか？

⇒事務局：中学校のコミュニティ・スクール目標に対して、何か大きく発信するという事はなかなか難しいと思う。中能登しごと館のサポートと部活動サポート体制の強化を2本柱として挙げているが、中能登しごと館の運営についてはメインがPTAさんになるので、地域へ発信というのは難しい。部活動サポート体制の強化として、こういう方いらっしやるよというご提案をして頂いたり、中能登中学校でこういう授業を考えているから、みんなで力になろうねという発信をして頂ければ。例えば、小学校であれば、見守り隊の拡大や人材発掘などに対し、比較的発信しやすい目標を掲げている。委員さんがおっしゃっていたが、除雪関係のことだったり、その都度、課題や問題が出てくると思うので、委員の立場で、これは力になれるかもということに対して発信して頂くのがいいのではと思う。

会長：そういう二つの柱に対して、私たちが運営委員として、事務局にこういう情報がありますよと積極的に情報提供していけばいいということですね。

～中能登中学校 CS スケジュール表に基づき説明～

～「部活動の地域移行化プロジェクトチーム」検討結果報告に基づき説明～

委員：今年度の外部指導員は弓道だけなのか？

⇒教育長：部活動指導員は弓道・ソフトテニス・バドミントンに配置。従来と変わらない。

事務局：県の配置事業というのがあり、弓道・ソフトテニス・バドミントンは県の事業として進めて頂いている。今後もそれは残ると思う。それ以外の部活動に対しては、中能登町における部活動地域意向の仕組みを使い、謝金をお支払いする。本来ならば国・県からお金を頂ければと思っていたが、進みが遅くなり、予算がつかなかった。中能登町としては、歩みを止めずに指導者をどんどん入れていくという形になる。

教育長：次のPTA研修部の会合はいつ開かれるのか？

⇒委員：5月12日（金）に予定している。

事務局：補足だが、コミュニティ・スクールの中で地域人材リストを作成し、今後人材バンクを構築していきたいと、生涯学習課の方で動いている。コミュニティ・スクールのボランティア募集のチラシを回覧させて頂くが、コミュニティ・スクールに限らず、こういう人材がいるという情報提供をして頂ければと思う。よろしくお願いします。

会長：これからちょっとずつ動きが具体化していくと思うが、新たな課題が出てきたら、解決に向けて第2回目以降に協議を重ねていくということになる。進行が不慣れなために、皆さんのお話を十分引き出せたか分からないが、ここで副会長より閉会の挨拶を頂きたい。

9. 質疑応答・意見交換

～説明ごとに質疑応答・意見交換を実施したため省略～

10. 閉会あいさつ（岡下副会長）

本日、このような素晴らしい会を立ち上げて頂き、感謝している。任命を頂いたので、精一杯できる限りの活動を応援していきたい。水谷内校長にお会いし、元気を頂いた。大西会長もおっしゃっていたが、私たちが負けないように、元気な、建設的な話をしていきたい。また、膨大な資料を準備頂いた、行政の皆さんにも感謝している。引き続き、ご支援頂きたい。皆さん、お疲れさまでした。

以上